

令和7年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

ローカルPPPを導入したインフラ包括管理委託検討調査 (調査対象箇所：大阪府泉南市インフラ施設)

【調査主体】大阪府泉南市

調査対象事業の概要／施設の概要

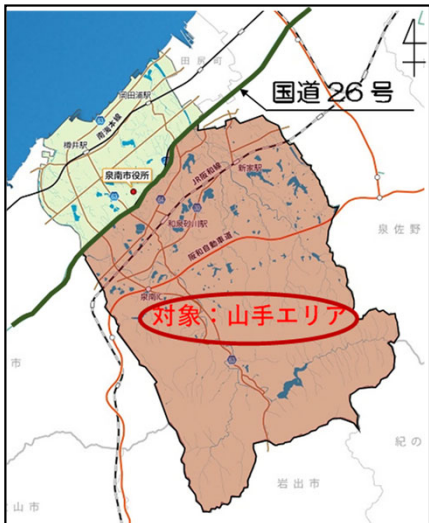
○事業概要

本市がこれまで直営や個別委託により維持管理を行ってきた道路、公園、河川、法定外公共物、農業に供するための基幹的農道、林道、排水管を**官民連携による包括管理委託を導入することにより、維持管理業務の性能発注化・複数年発注化、維持管理情報の収集・効果的活用(DX化)などにより、**インフラ等の持続的な機能維持及び効率的な管理運営の実現を目指すものである。

○対象範囲

・本市の山手エリア（国道26号より南側の地域）を包括管理委託の対象範囲とする。

・対象施設は下表のとおりである。



管理対象	数量
市道	254路線 143,107m
橋梁	53橋
道路付属物	道路照明灯 322基
	防犯灯 3,655基
	道路反射鏡 1,095基
公園・緑地	都市公園 78箇所
	緑地 約20か所
	児童遊園 7か所
	農業公園 1か所
河川	10河川
法定外公共物	排水路 対象エリア内※
	用水路 対象エリア内※
	里道 対象エリア内※
	農道 約22,000m
林道	約20,400m
排水管	対象エリア内※

○事業スキーム

・民間事業者との意見交換会により地元企業の意向を確認
→**地元事業者が主体**となる事業スキームとする。
・地元事業者が事業に参画するにあたり、統括管理（システム管理やマネジメント業務等）がハードルとなる
→統括管理業務は市外企業が担う
→地域人材の育成につなげ、**将来的に本市のインフラメンテナンスは地元事業者が担う事業スキームに繋げる**

検討経緯等

H27：公共施設等最適化推進基本計画（総合管理計画）の策定

R3：国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）の重点的に実施すべき取組、「体制の構築」に包括的民間委託が位置づけられる

R4：国のインフラ長寿命化計画における包括的民間委託の取組方針を受け、インフラ等包括管理委託導入について、庁内で検討

R5：インフラ等包括管理委託導入の可能性について基本調査を実施。「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」のモデル地域に参画、広域連携による群マネと連携しながら事業化に向けた検討を共有

R6：インフラ等包括管理委託の実現に向け、庁内検討部会及び地元事業者との勉強会・意見交換会を実施し、課題を整理

事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

市が抱える問題等

施設の維持管理

・インフラ施設は今後急速に老朽化が進行
・苦情・要望の件数は1,200件を超えている

維持管理の担い手

・市の技術職員数が今後急激に減少
・維持管理を担う団体は小規模な地域団体や市内企業

維持管理費

・市直営の維持管理を民間に委ねるため、適切な委託費を設定する必要がある
・インフラ維持管理に充当する市の予算が減少し続けている

解決すべき課題

市内企業を中心とした体制構築

市内企業の技術力強化、市内企業の強み（機動力等）を活かし、効率的・効果的な維持管理の推進が可能な事業スキーム・体制を構築

市民の安全確保、持続可能なインフラ維持の枠組みの整理

事業全体を評価し改善しながら進めるための仕組み（市民目線での評価指標、モニタリング等）の考え方を整理

予防保全的な維持管理の推進

定期巡回の導入等による情報収集能力を強化を進め、予防保全型の業務を実施

令和7年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

ローカルPPPを導入したインフラ包括管理委託検討調査 (調査対象箇所：大阪府泉南市インフラ施設)

【調査主体】大阪府泉南市

調査の流れ／調査内容

現状把握・課題の整理

- ・エリアごとの対象施設の数量、発注件数・金額等の把握
- ・市職員へのヒアリングによる課題把握等

事業内容・条件の具体化

- ・民間事業者に委ねる業務内容・数量等の整理
- ・契約方法・事業期間・条件等の具体化等の検討

財政負担削減効果の検討

- ・事業条件等に民間事業者の意向を反映して事業費を算出し、財政負担削減効果を確認

事業実施概要書等の作成

- ・事業実施概要書の作成
- ・要求水準書(案)の作成

事業説明会の実施

- ・市内外企業を対象とした事業説明会を実施

事業化検討

○包括管理委託対象業務

業務名	業務内容
共通業務	統括管理、窓口対応、記録作成・保管、業務終了時の引継ぎ、巡回、災害対応
道路関連業務(橋梁含む)	舗装修繕・補修、道路施設修繕・補修、交通安全施設補修、道路反射鏡補修、清掃、除草、土砂・草木回収、樹木剪定等維持管理
公園関連業務	公園施設修繕・補修、照明灯補修、清掃、除草、土砂・草木回収、樹木剪定等維持管理
河川・排水路※関連業務	河川・排水路施設修繕・補修、排水路浚渫、清掃、除草、土砂・草木回収、樹木剪定等維持管理
農業公園関連業務	施設修繕・補修、清掃、除草、樹木剪定等維持管理
農業用水・農道・里道※関連業務	農業用水施設修繕・補修、農道・里道修繕・補修、交通安全施設補修
林道関連業務	林道修繕・補修
排水管関連業務	排水管施設修繕・補修

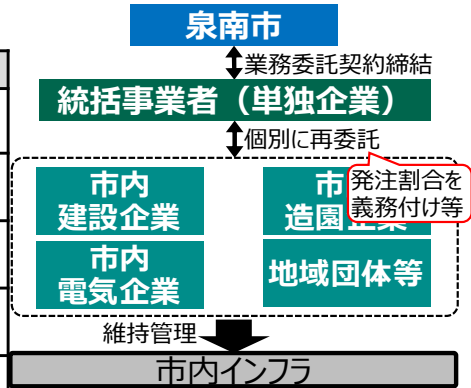
市が導入する道路管理システムを活用することで、維持管理情報の収集・効果的活用を実現

※法定外公共物

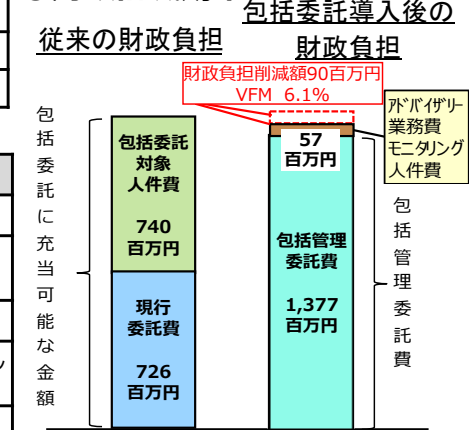
○効果を評価する指標

期待する導入効果	指標案	評価方法案
市民サービス向上	市民満足度、苦情・要望件数等	市民アンケート・ヒアリング、苦情・要望件数推移
市内企業の受注機会創出	発注金額等	従来型発注との比較等
市内企業の育成	雇用者数、市内企業の成長等	実施体制確認、ヒアリング等
ライフサイクルコストの削減	インフラの劣化状態、今後の修繕費等	劣化状態確認、今後の修繕費・更新費の見通し等
市の財政負担軽減	財政負担の軽減等	財政負担シミュレーション等

○事業スキーム



○財政削減効果



今後の進め方

※ 現段階で市が想定する群マネ(地域インフラ群再生戦略マネジメント)とのすみ分け



例えば、先行して泉南市が取り組む要望等受付の窓口対応(コールセンター)の対象を周辺市町村に拡大等

想定される課題

- ・統括管理企業が市内企業へ再委託することを想定しているが、市が想定する効果(受注機会創出・育成等)が達せられない懸念があるため、市内企業活用について統括管理企業に求める要件等を検討する必要がある。
- ・統括事業者は包括管理委託全体の責任を負うため、適切に業務を履行するための参加資格要件を設定する必要がある。
- ・本事業は性能規定を導入する予定であるが、本事業に含める市直営業務は明文化されていないため、適切な水準を設定していく必要がある。